

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1)		
ナンバリングコード	A10202	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	1	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	A031066	クラス名	0
担当教員名	吉森 聖貴		
履修上の注意、 履修条件	人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。担任制の授業です。12月21日の成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。 ・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢では意味がありません。 ・ワークショップでの成果の善し悪しは問いません。過程を重視します。そのため、出席するだけでは単位修得できません。 ・週によっては授業時間内に講義室外へ出る場合がありますので、絶対に遅刻をしないで下さい。また、ワークショップで講義室外へ出るときは、担当教員の許可を得るとともに、安全に注意して下さい。		
教科書	知へのステップ 第5版 一大学生からのスタディ・スキルズー (くろしお出版)学習技術研究会 編著 ※ 前期使用教科書		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	社会参画入門、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目		

○授業の目的・概要等		
授業の目的	社会や企業では、様々な価値観・キャリアを持った人々が連携・協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、チーム活動を行い、社会・地域で必要な人間力、社会人基礎力(特にチームで働く力の基礎)＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体(大分県、大分市)の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。	
授業の概要	効果的にジェネリックスキル(コンピテンシー能力、リテラシー能力)を高めるため、ワークショップを8回実施(発表等を含む)します。 ここでは、地方創生をテーマに、提示された地方自治体の政策から興味のある政策を選択し、自分たち若者が政策により関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じた他人との関わりによってコミュニケーション能力を向上させたり、ワークショップをスムーズに進めるための役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館・インターネットでの情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業)
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①地域への関心:地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にできる。 ②チーム活動:チーム活動に取り組むことができ(主体性)、自分の役割を果たすことができる(状況把握力)。 ③時間管理:ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる(規律性)。		10点	20点
【知識・理解】	①情報分析力:収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。		5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力:チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる(発信力)。また、相手の話や意見を聴くことができる(傾聴力)。 ②プレゼンテーション力(情報スキル、発信力):自分の責任範囲の発表ができる。		20点	15点
【思考・判断・創造】	①情報収集力:インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力:収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力:自分の責任範囲の成果が記述できる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
・学修ポートフォリオ【評価シート(事前・事後)、活動記録シート】の書き込み状況を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(40点) ・最終成果発表会のパワーポイント資料、企画書を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(チーム評価&個人評価で25点)	
※評価レベル毎の到達目標基準(ルーブリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。 ・最終成果発表会のプレゼンテーションを到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します(チーム評価&個人評価で10点)。 ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(15点) ・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(10点) ※評価レベル毎の到達目標基準(ルーブリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。	

○その他	
ワークショップでは、成果物としてチームで企画書(レジュメ)の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。また、授業時間外の企画書・パワーポイント作成、ワークショップなどは、人間力育成センター多目的ルーム(1号館1階)やアクティブラーニング室(4号館1階)などの学内施設を活用して下さい。 都合により、授業の順序、進度が異なる場合があります。	

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1) 担当教員：吉森 聖貴	授業コード:A031066
学修内容		
1. 担任授業(1) ■ガイダンス ■担任活動 ■履修再指導		
予習：シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。履修登録内容の確認。 復習：履修登録の確認		
2. 担任授業(2) ■プレゼンテーションの基本スキル		
予習：教科書第11章の予習 復習：教科書第11章の復習		
3. 担任授業(3) ■わかりやすいプレゼンテーションのために		
予習：教科書第12章の予習 復習：教科書第12章の復習		
4. ワークショップの概要説明 ■地方自治体(大分市等)の政策 ■ワークショップの概要 ■課題テーマ出題		
予習：大分市・県の政策課題を調べる 復習：配付資料の復習		
5. 担任授業(4) ■テーマ選択 ■班編成 ■事前評価シート記入 ■情報収集方針の確認		
予習：情報収集 復習：報告書記載内容の整理		
6. ワークショップ(1) ■情報共有 ■活動方針決定 ■役割分担の決定		
予習：情報の整理及び追加収集 復習：報告書記載内容の整理		
7. 大分県・市出張講義 ■出張講義の受講		
予習：情報の分析及び追加収集 復習：報告書記載内容の整理		
8. ワークショップ(2) ■フィールドワーク(情報収集)		
予習：情報の分析及び追加収集 復習：報告書記載内容の整理		

○授業計画	科 目 名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1) 担当教員：吉森 聖貴	授業コード:A031066
学修内容		
9. ワークショップ(4) ■情報分析・課題発見 ■企画アイデア整理 ■中間報告		
予習：企画の整理及び追加情報収集 復習：報告書記載内容の整理		
10. ワークショップ(5) ■企画の方向性の決定 ■情報再分析・課題整理 ■企画書の作成 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成)		
予習：企画書・パワーポイントの作成 復習：報告書記載内容の整理		
11. ワークショップ(6) ■企画書の作成・提出 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)		
予習：パワーポイントの作成、発表練習 復習：報告書記載内容の整理		
12. 成果発表会(12月21日) ■全チームによる成果発表会 ■代表チームの選出		
予習：発表練習 復習：報告書記載内容の整理		
13. 全体成果発表会【全体授業】 ■代表チームによる発表		
予習：発表内容の修正、発表練習(代表チーム) 復習：		
14. プレースメントテスト ■プレースメントテスト ■社会人基礎力自己評価		
予習： 復習：報告書記載内容の整理		
15. 担任授業(5) ■振り返り ■振り返りシートの記入 ■面談 ■受講アンケート		
予習： 復習：報告書記載内容の整理		
16.		
予習： 復習：		